

大正期における子どもの遊び生活

蛭 田 道 春

はじめに

大正期における子どもの遊び生活をあげながら、その時代の子どもの遊び生活の一端の特質を考察する。子どもの遊び生活には、親子・友人・地域社会、読み物・玩具・スポーツ・施設などのかかわりがあげられる。

まず、大正期の子どもの遊び生活について、当時の教育論、子ども向け雑誌、双六、玩具、文集などをあげてみる。次に実際に当時の子どもが経験した遊び生活をめぐって、子ども自身が作成した日記・作文などをみてみる。

大正期は15年間という短い時期なので資料そのものはすくない。そのため、地方にまで児童中心主義の考えがひろまっていたのか、まだ明らかにされていないところがある。先行研究では、学校史、児童史、学校史などの領域で子どもの生活をめぐってかなり研究されている¹⁾。

しかし、子どもの実際の一次資料でその子どもの状況を扱ったものはすくない。例えば都市部は、比較的取り上げられているが、地方の子どもの生活に言及した研究は、すくない。

1. 大正期の子どもの遊び生活

大正期は児童中心主義の思想が普及した時代といわれるように、子どもの存在や自由な活動が認識された時代であった。子どもの個性、純真さを扱った自由主義の教育、作文教育、自由画、また子どもの玩具・遊びの存在を重

視した。それ故、子どもを視点にした様々な教育が展開された²⁾。

(1) 児童画

大正期に山本鼎のクレヨン画と同時に、水彩画、鉛筆画、クレヨン染めも普及した³⁾。

① 鉛筆画と水彩画

次にあげるのは、その水彩画と鉛筆画の扱い方論である。

ANIMALLAND、PAINTING は、鉛筆と彩色の例をあげていて、色合いは大正期らしい色彩である。

- ・ ANIMALLAND サイシキシカタ エンピツ画 動物類
大正 2. 10. 5 臨写兼印刷発行者 綱島亀吉 発行所 島鮮堂
- ・ ANIMALLAND サイシキシカタ エンピツ画 鳥類
大正 2. 10. 5 臨写兼印刷発行者 綱島亀吉 発行所 島鮮堂
- ・ ANIMALLAND サイシキシカタ エンピツ画 植物類
大正 2. 7. 5 臨写兼印刷発行者 綱島亀吉 発行所 島鮮堂
- ・ APAINTING サイシキシカタ エンピツ画 花類
大正 8. 7. 25 臨写兼印刷発行者 綱島亀吉 発行所 島鮮堂
- ・ Apainting サイシキシカタ エンピツ画 画手本 第4集
大正 8. 1. 5 臨写兼印刷発行者 綱島亀吉 発行所 島鮮堂
- ・ APAINTING サイシキシカタ エンピツ画 植物類 ⑤
大正 8. 7. 25 臨写兼印刷発行者 綱島亀吉 発行所 島鮮堂
- ・ plants Land PAINTINGBOOK サイシキ画帖 植物 其貳 賞観類
家庭教育絵本 発行者 尚美堂 田中良三
- ・ PAINTING BOOK PLANTS LAND サイシキ画帖 植物四
果実農作類 家庭教育絵本 大正 4. 9
画作兼印刷発行者 尚美堂 田中良三
- ・ ZOOLAND PAINTING BOOK サイシキ画帖 鳥類其壺
家庭教育絵本 大正 4. 6. 18
画作兼印刷発行者 尚美堂 田中良三
- ・ PLANTS LAND PAINTINGBOOK

サイシキ画帖 植物其壺 賞観類 家庭教育絵画 大正4.8

画作兼印刷発行者 尚美堂 田中良三

・THE GARDEN KANAI'S PAINTING BOOK

教育彩色画帖 花卉類 東京 金井発行 大正6.1.5

画作兼印刷発行者 金井直三

- ② 児童美術「クレヨン染と版画」 横井曹一著 目黒書店 大正14年
クレヨン画からさらに発展して、児童の工芸美術をまとめたものである。

まず、序で、「児童生徒が自己の考案意匠を実際に製作し更に自由に供する所に図案の意義と効果がある。かうして児童の工芸美術は発展し創造性は深化し美術学習の功程は進展するものである。」と述べ、本書の趣旨を論じている。そして、「現今一般家庭にも諸種の染色が取込まれているので何れの児女も相当な興味を持っている。故に小学校に於ても中以上の学年の女兒はこうした染色図案を非常に要望している。」と述べて、クレヨン染めを中心に児童による染色と児童版画について経験から論じたとしている。

本書の内容は、次の事項から理解できる。

児童の工芸図案

趣味のクレヨン染め

クレヨン染の用具と材料

クレヨン染と図案

クレヨン染めと描き方

クレヨン染めの仕上げ等

(2) 双六

大正期の双六については、山本正勝著「絵双六」を参考にしながら述べてみる⁴⁾。大正ロマン、といわれた時代にあって、文化の花が咲いた時代で、広告の進出と増加、新聞の増加、野球・スポーツの展開、のりものの出現があり双六もそれを反映している。

広告の双六では、広告を紹介するものである所以多様な内容のものが

多く、例えばお買い物双六、商家双六、人気俳優双六などである。

のりもの双六では、旅行双六、競争双六、飛び双六などで大正期の新しいのりものをあげた内容である。その他、漫画関係にあって、ポンチ双六、漫画そのものの双六もある。

以下の大正期の実際の双六の内容例を示した。

・冒険小説双六 川端龍子画 大正2.1.1

日本少年編集再考案 実業之日本社発行

1. 出発 2. 三軒屋 3. 絶壁 4. 丸木橋 5. 狼来る 6. 森林
7. 杉大 8. 又一難 9. 大鷲 10. 危機一髪 11. 真逆様
12. 山賊 13. 逃走 14. 途中 15. 暴風雨 16. 墜落 17. 谷底
18. 救助 19. 飛行機来る 20. 爆裂弾 21. 退治 上り

・少女学校家庭双六 少女世界 第12巻題1号付録 大正5.12.1

印刷製本

印刷製本 渡邊文子 吉田秋光 吉岡千種 発行所 博文館

ふり出し お人形遊び 通学 お掃除 遠足 お稽古 教室 お裁縫
ぶらんこ テニス 運動会 お客様 復習 上り

・世界軍人飛行双六

飛行少年新年号付録 大正6.1.1 発行兼編集人 青木将 発行所
日本飛行研究会

振出し(日本砲兵) 英国高地歩兵 匈我利騎兵 奥太利歩兵
伊太利歩兵及騎兵 仏国歩兵 独逸驃騎兵 自耳義歩兵及騎兵
英国歩兵 露コザック騎兵 英国騎兵 仏国砲兵 露国歩兵 独逸歩兵
仏国龍騎兵 独逸鎗騎兵 奥太利驃騎兵 仏国胸甲騎兵 土耳其騎兵
上り(軍旗)

・小学生徒双六 大正7.10月。1日 製作兼発行者 綱島亀吉

1. 読書 2. 器械体操 3. ブランコ 4. 寄宿舍 5. 綱引競争

6. 遠足 7. 水泳 8. ボートレース 9. 桜狩 10. 野球
 11. ロンテンス 12. 運動会 13. 唱歌 14. 遊戯
 15. フートボール 16. 修学旅行 17. 同期会 18. 天長節
 19. 復習 20. 上がり 卒業式

- ・双六幼女カガミ 秋光 青起 幸也合作 幼女の友 新年号付録
 第8巻第1号 大正8. 1. 1 幼女の友社
 フリダシ ハナコサン 1. フミコサン 2. ヒサコサン
 3. ウメコサン 4. ミヨコサン 5. スミレコサン
 6. マツコサン 7. タタコサン 8. キミコサン 9. チヨコサン
 10. サワコサン 11. ツユンコサン 12. カホルサン
 13. ツルコサン 14. タケコサン 15. マサコサン 上り

- ・幼女双六音楽会 細木原青起画 幼女の友 第6巻第1号
 大正11. 1. 1 幼女の友社
 フリダシ バイオリン オコト シャミセン ハーモニカ フェ
 マンドリン フウキン ビハ 上り (ピアノ)

- ・幼女の会 新年号付録 第6巻第1号 大正11. 1. 1
 発行所 幼女の友社
 ヴァイオリン フェ フウキン ビハ シャシン ハーモニカ マンド 原文ママ?
 リン上り ピアノ

- ・幼女年中双六 大正11. 1. 1 美しい幼女第2巻第1号付録
 振り出し ウメミ ヒナマツリ オハナミ ウンドウクワイ
 ホタルガリ タナバタ カイスイヨク オツキミ ママゴト
 モミヂガリ クリスマス 上り

- ・女子スポーツ双六 大正11. 1. 1 主婦の友社発行
 入場式 ふりだし テニス (サービス) ランニング (スタート)

水泳（スタート） バレーボール（サービス） バasketボール
センターボール ハイジャンプ

フットボール、バイオリン、ロンテンス、音楽（マンドリン、ピアノバイオリン）など自由主義的な活動に有用なスポーツや楽器があげられている。

(3) 玩具

玩具関係では、第一次世界大戦の影響もあって、日本製品は、一般的に盛況であった。明治時代よりも種類も増加し、その製作の仕方も進歩した。スチームボートの出現、セルロイド玩具の増加、電池を活用した金属玩具などである⁵⁾。その結果、玩具の意味や選び方などの事が重要なこととして注目される⁵⁾。

次の単行本は代表的なものであろう。

- ・玩具の選び方と与え方 大正15年3月15日 東京市社会教育課編
実業之日本社

「遊戯には遊具が必要であり、遊具は即ち其の殆ど全部が玩具」であるといえると述べ、子どもにとって精神及び身体発達に欠かせない貴重な教科書である。そこで、玩具はさらに改善されねばならないので、家庭の方たちに玩具に関する識見を一層高める必要がある。東京市では、大正14年3月、「玩具製造の教育的改善、教育上優良玩具の奨励、教育上不良玩具の警告、家庭に対する玩具選定の眼識を高め、其他教育上玩具の注意並びに其の進歩を図る等を目的」として、玩具展覧会を銀座松坂屋で開催し、「多大の効果」を得たのであった。それを基礎に、玩具に関する理論と實際を本書に編集したのであった。

理論については、子どもとおもちゃ（倉橋惣三）おもちゃと子どもの病気（竹内薫兵）おもちゃの選び方（関寛之）子どもの生活におけるおもちゃの価値（高峰博）職業指導と玩具（谷口政秀）人形の研究（高島平三郎）、実践では、おもちゃの選択は母親の責任 自製玩具の暗愚に解

説 玩具を計画的に使用したる効果の実例 音を有する玩具について
 玩具による教育の実験 おもちゃの使命 玩具の価値 玩具感想 おも
 ちゃの失敗 ゴム風船で命を取られた実例 育児上の縁起に関する玩具
 このように、玩具の教育的目的・価値、選択の仕方、病気と安全、玩具
 の種類とその価値、失敗例などをあげるとともに、特に、わが国の伝統的玩
 具について出産、哺乳、蟲除、夜泣止、瘡除、疱瘡除、幸福を祈るもの、食
 事にわたってあげているのは参考になる。巻末の付録に、玩具の選択（教育・
 技術・衛生・経済上の意味）、そして幼児・児童の発達段階別に与えるべき
 玩具を記している。幼児・児童の子どもについて発達の視点から述べている
 のは大正期らしい特色である。

（4）雑誌

子ども向けの雑誌では、少年、少女（大正2年）、赤い鳥（大正7年）、子
 供之友（大正3年 婦人の友社）、少年・少女譚海（大正9年 博文館）、コ
 ドモノクニ（大正11年）少年倶楽部（大正3年）など子どもを表現したタ
 イトルであり、大正期の特色だからであろう⁶⁾。当時、代表的な子ども向け
 雑誌「少年倶楽部」の内容は、教養（社会科的知識、理科的知識）、外国もの、
 講談的、探検・スリラー的なものが多いという。

そこで、子ども向け雑誌について、子どもの遊び生活に関係する例をあげ
 てみた。

① 世界少年 新年別号 大正9年12月 新光社

（作文 題随意）散髪 長崎 柏谷政太郎

……日当たりのよい南向の板の間で重ちゃんは、お父さんから髪を刈っ
 てもらっている。デョキンデョキン暖い夕日に心持よく切れて行く。

……

（作文 題随意）活画 大阪 辻本国男

……門前で4、5人の子供が、玩具屋の真似をして遊んでいる。足の取
 れた人形や、色の流れた絵日傘や、墨で汚れた絵本等が、板で作った台
 の上にぎっしり積んである。……

② 幼年の友 大正4・11・1 実業之日本社

……ヒコウキヲツクリマシタ・・・ヒコウキニノッタママ セイヨウニ
トンデイキマシタ ソシテドイツノヒコウセンニズドント ブツカ
リマシタ……

③ 日本少年 6月 第14巻第7号 大正8・6・1 実業之日本社

・新聞を読んで 兵庫県加東郡中東条村新定 平川幸雄 15

……新聞を読んで先ず驚くのは比の頃の三面である。社会世俗の雑件
を記載する欄である。……

・ボート 大阪市北区本庄東権現町1243 殿岡辰雄 16

「君ボートに乗らない？」私と一緒に歩いて居たKはこういった。私
は迷った。「お前は身体が弱いからボートなどに乗ってはいけないよ」
といわれた母の言葉を思い出して。しかし、その事をKに話したら「何
だ、男の癖に」といって笑うにきまっている。……

その他 日本少年 第14巻第7号の所載記事から

……ベースボール好きのポン吉は、待ちに待った日曜が、また雨になっ
たので、ガッカリしてしまいました。……

……太郎は毎日野原へ出てハモニカを稽古しているうちに、大層上手
になりました。……

……しまいにはお巡査さんまで、その妙音に魅せられて、ダンスをは
じめるのでした。……

新聞を読むことやボート、ベースボール、ダンスなどのかかわりは、当時
としては、先端的なあそびであろう。

2. 伝記、日記にみられる子どもの遊び生活

伝記、日記所載から子どもの遊びをあげてみる。

(1) 幼年 大岡昌平 (株)潮出版 昭和48年 5月

大岡昌平は自分の子どもの時代について「幼年」の内容から遊びについてあげてみると次の通りである。

石けり おはじき お手玉 天神詣り 兵隊ごっこ 童謡を「赤い鳥」へ投稿 相撲 駄菓子屋 メンコ キャッチボール トンボをとる 紙芝居 川に入って ハヤやメダカをしゃくうこと 神楽 金子八幡の例祭 ガラスの円盤「石けり」の遊び 「ジャックと豆の木」「マッチ売りの少女」の話 追いかけて 陣取り子供の遊び場は田中稲荷 駄菓子とおモチャを売る店 積荷の間で隠れん坊 ピアノ つるべ井戸で、板の蓋の上に上り下り じゃんけんできめた目標まで往復する遊び 蛭狩り 赤いリボンへ投書

年中行事にそくした遊び、自然とのかかわりの遊び、新しい遊びとして「キャッチボール」「ガラスの円盤」がみられ、当時の子どもの読み物などがあげられている。

(2) 日記

大正期の時代をすごした子どもの日記があり、当時の子どもの生活の状況が示されており、その意味で資料的ににも高いので、その中からあげてみる。

- ・「大正期の小さな日記帳から」 上村秀男著 上村武男著
株式会社編集工房ノア 2000年10月

やきうすご六 雪なげ 図書館へ本を読みに行き まりなげ 馬かの小ざる(鈴木三重吉作) まりなげ 学校ごっこ 活動写真 百人一首のかるた あふぎ(扇)だまりなげ 雪合戦 図書館(尼崎市立図書館) 雑誌「少年少女譚海」(博文館)「たんかい」をかってもらった げんとう「平和館」(尼崎の映画館)へ行く 虫取り 行水 海水浴 がく(絵額)をうつしてあそぶ 人形 かなりや4羽いる かねわ(金輪)をまわしてあそぶ 色がみをおったりして遊ぶ 八千代

座の芝居 かるわざ（軽技・サーカス）を見に行く すまう 雪合戦
 ベース（野球） 朝起会 すもう 金魚の水をかえる 動物園にいく
 夏まつり ぎょうずい 地藏盆 もろこをつったり、いなごととった
 り 犬をつれてうんどう 体操会 ふなごを取りに行く 子犬 ベー
 ス 家族あわせ 活動写真 すすはき はごいた すごろく雪合戦
 豆まき 春まつり 軍艦をみにいく トランプ ボートのり 草花
 野球 運動会を見に行く 雑誌「児童の世紀」 クレオン こいのぼ
 り ほたるがり クリスマス 「ハックルベリーフィンの冒険」「トム
 ソーヤの冒険」をよむ 登山 魚を採る かくれんぼテニス かるた
 会 児童の世紀をよむ 氷すべり フットボール 学芸会 端午の節
 句 少年倶楽部をよむ 立川文庫「荒川熊蔵」「佐倉宗五郎」をよむ
 「少女の友」をよむ 「少女世界」をよむ バレーボール

上記の日記の内容から、野球、テニス、活動写真、ボートのり、フットボ
 ルなど新しい当時の子どもの遊び生活がみられる。また、大正期に刊行され
 た読み物が示されている。

- ・大正14、15年度 暑中休暇日誌 発行所 神奈川県立横須賀中学校
 海水浴 つり トランプ 自転車 フットボール ボート 金まわし
 将棋 雑誌「キング」 雑誌「中学世界」

フットボール、ボート、雑誌「キング」「幼年世界」、が」みられるのは、
 大正期として留意したい。

3. 子どもの文集の内容に示された遊び生活

子ども自身があらわした文集の内容」をあげてみる。それによって子ども
 の自身の遊び生活の考えや特質がみられる。

(1) 最近児童文集 岸田牧童編 同文館 大正 12 年 10 月

序に本書のきっかけが示されている。

「今日でこそ種々様々の児童文集が方々でできています。けれども日本で児童文集を編纂したのは かく申す私が 大正 4 年に試みたのが最初であります。……すべての地方に互って集めてできたのものは この書の外にないのであります。……」

そして、はしがきで児童文集、綴り方の意義が示されている。

「たくさんに人の綴方をよく考えてよみ そしてそれにまざる 綴方を書いて下さることをおすすめします。見たこと聞いたことをありのまゝに自分の心の中におもったこと感じたことをそのまゝにひとにわかりやすく またひとの心に感じやすく書くことはもちろん さらにいることいらぬことと考えて手みじかに そしてうつくしく 順序を考えて書いて読むひとが くりかえしくりかえし何べんでも読んで見たいとおもうほどの……」

次に具体的に作品をあげてみる。

・水汲み（自由作） 北海道中川郡本別小学校 佐藤トヨ

姉さんが亡くなったから 春になったら 水を汲む約束であった。今日はカラッと晴れた 学校も休み 水を汲むには全くよい。母と一緒に近所の井戸へ両手に手桶をぶら下げながらやって来た。丁度隣の小母さんも 水を汲んでいた。ニコニコして「とよちゃん 初めての水汲みですか」とおっしゃいながら 親切につるべの桶一つを汲んで下さった。母は「えゝ何時までも遊ばせておけませんから」と言われた。やがて小母さんは 家の手桶と同じ位の 水をなみなみ汲んで軽そうにかついでいかれた。そこで私は つるべを幾度か上げたり下げたりしてようよう両方の手桶に 一ぱいにした。母はニコニコ見て居た。さて かぎにかけて かついだが よろよろして歩けそうにない。私は さっき小母さんが軽そうにかついで行った姿を思い浮かべて 自分が歩けぬ事を残念に思った。肩はしびれるようにいたい。母は私の様子を見て居られたが「そうしては歩きにくいであろうからこうしなさい」と御自分でかぎ

を持って教えて呉れた。母の通りにして見ると 少し楽だが どうしても歩けぬ。桶の水はボツンボツンとおどる。母は親切に米とぎ桶を二つ持って来て 手桶の水を半分ばかりあけて「さあかついでごらん」と私にかぎをわたされた。かついで視ると 今度は楽にかつげうようになった。家へ来て 手桶を下して ほっと胸をなで下したが 心臓はドキドキして ナカナカ静まらなかった。

- ・私の妹（自由作） 福島県石城郡小名浜小学校 比佐ハナヨ
私の妹は今年三つです。人形が好きで毎日抱いたりおぶったりしてあそんでいます。私が学校から帰る頃には いつも人形を抱いたままやすやすや眠っています。妹の寝顔には少しの不安がありません。……
- ・蟹取り（自由作） 奈良県宇智郡五条小学校 柏木安雄
岩と岩との間へ片手を入れると 海草がぬらぬらと手に当って気持ちが悪い。……岩の奥を探ると 固い蟹の甲が手にさわった。そらっと引っつかむと蟹は逃げようとする。何くそと 力まかせに引っばると ぽくりと足だけがもげて 手に残った。又手を入れる。今度は居ない。……
- ・私の兄さん（自由作） 三重県安濃郡新町小学校 山田みや
- ・……学校から帰るとラケットをもってテニスをしに行く。日は西山にはいり はやでんきのついて居るのも知らず一心にやっている。それで私が呼びに行くのである。大へん遊ぶことがすきであるが……
- ・彼岸まいり（自由作） 群馬県富岡小学校 戸塚四郎
九月 24 日は 彼岸の中日であります。私はそれを知らないで栗取りに行きました。帰って来ると家には色々の御ちそうがあるので 不思議思ってたずねて見ると其のわけが分かりました。ああ大変だ申しわけない事だと急いで着物を着かえて一人で御墓参りに行ってきました。……

上記の文章から、当時の子どもたちの一端が示されている。親子関係・児童労働などがみうけられる。一方、テニスなどの新しい傾向がみうけられる。

(2) 東京市立小学校児童震災文集 著作者 東京市役所 発行所 培風館
大正 13 年

本書の出版の理由は、凡例に次のように述べている。

「本書は大震災後、東京市学務課がが主催者となって、全市小学校児童の精神的復興を図ると共に、一面技能科の向上に資する目的を以て開催した「震災記念作品展覧会」出品の綴方作品を網羅したもので東京市内百九十六の小学校から選抜された二千有余の作品を……収めたものである。」

同じく当時の学務課長 佐々木吉三郎は「出品物は何れも児童達が純真なる個性の表現であると共に、真に彼等の体験に基づく最も貴重すべき震災の記録……」であるので刊行したと述べている。それらの内容から子どもの遊びにかかわるものをあげた。

・お節句

麹町区 永田町尋常小学校 第五学 女 丹沢田鶴子

三月三日には一つの復興気分になって、この新しい又可愛らしいお雛様の前で、賑やかに遊ぼうと今から楽しみにして待つて居る。……

・雪合戦

神田区 和泉尋常小学校 第五学年 男 小林正

信ちゃん、正ちゃん、雪合戦しようと隣の石黒君がさそひに來た。元來こんな事の好きな僕はすぐ賛成した。……

・自転車

日本橋区 坂本尋常小学校 第五年女 市川光枝

私は自転車に乗りたくてたまらない。……今度はお父様に申し上げたら、やっぱりいけないとおっしゃる。私は、つまらないのでそおっと、表へ出て家の前に並んでいる自転車に足をかけた。とたん、「こらっ」

という大きな声がした。……

・ワタシノオニンギョウ

麴町区 麴町小学校 第一学年 女 迎田キクエ（八歳）

ワタクシハコノアイダオカアサンカラ ニンギョウヲカッテイタダイマシタ。ソシテユリ子トナマエヲツケテマシタ。

アタラシイキレイナメリスノキレデ キモノヲツクッテイタダキマシタ。カワイラシイカオシテイマス。ワタクシハマイ日カワイガッテイマス。ワタクシハソノオニンギョウヲネカシタリキモノヲキセカエタリシテアソビマス。

・あそんだこと

本所区 菊川尋常小学校 第二学年 佐藤常作

私は近所のお友だちと、おにごっこや、かくれんぼをしてあそびました。
……

・折々の思出

京橋区 京橋高等小学校 第二学年 女 鈴木ゆき

- ・……東京なら羽子をついたり、双六やカルタ等をして遊べるのに等と考えると泣き出したい様な心持になった。この田舎房州の寒村では正月とは名ばかり……節分の夜、福は内、鬼は外の豆まきはいつも祖父がやった。……端午の節句、柏餅、のぼり等と当時の事がおぼろげに頭の中に浮かんで来る。……

双六 カルタ 人形 かくれんぼ おにごっこなど、比較的伝統的あそびが述べられている。しかし、自転車のりは、大正期に流行したものであろう。

(3) 尋常小学夏季学習帖 第4学年 大正12年6月15日

発行者 富田屋書店

夏休みの宿題帳から、その日記の部分を示してみた。子どもの生活の一側面がみうけられる。

・8月27日 月曜日

朝おさらいをしてあそんだり、いもうとのおもりをしました。昼過ぎから、ままごとあそびをしました。2時頃からは、お母様のおてつだいをしました。

(4) 文集 「文林」「フタバ」

「文林」「フタバ」を発行した南下浦尋常小学校は、三浦半島の半農半漁の村に位置している。その学校で発行された文集は当時としては、地方での作文集として貴重であると考え。その内容は、子どもの純真な生活を語っている。その意味で都市の小学校での綴り方の内容と当然違うものであり、当時の子どもの生活を伝えている。

・文林 第7号 大正12年4月

人形と弟 分4 新倉シズ子

私の人形 かわいい人形 いつか私の弟がとってしまっておもちゃにし着物をきせてだきまわる だいた私の弟は かわいい声で歌うたう

・文林 第7号 大正12年4月

向こうの家 山下文蔵

こちらの家は明るいでんき 向うにみえる一けん家
さびしい暗いランプです

・文林 第7号 大正12年4月 尋2 小林ヤス

内のおじいさんは八十二でたっしゃです。しごとすきです。夜になるとおばあさんの家にとまりにいきます。それから雨がふると私たちの

ぞうりをつくってくれます。
(評) よいおじいさんですね。

・文林 第7号 大正12年4月

学校 尋常3 飯島アキ

あめと風とがひどいうえ、道がわるくてこまります。

わたしはいやになったけど いかなきゃならぬ学校へ

・文林 第7号 大正12年4月

ひこうき 尋常2 蛭田ハナ

ぶんぶんひこうき

あちらの空にうなってる

こちらの空にもとんでいる

ぶんぶんひこうき

海を越せ、山を越せ

どっちもまけるな

・フタバ 大正

山遊び 尋常4 藤平

昨日学校から帰ってすぐ一人で山へ遊びにいきました。そしてあちらこちら見まわしますと向うにゆりが一本美しく咲いていましたので採りに行きますと犬がねていました。私は不意に大きな声でどなったら驚いて逃げていきました……

・フタバ 大正

夏 尋常4 鈴木元孝

夏はたいそう暑くて磯遊びにはもっともよい時です。私は夏が一番好きです。

時々海へ遊に行きますと土用波でも……

・フタバ 大正

私のほたる 尋常2 鈴木賀市

ゆうべはほたるを二ひきつかまえてほたるをかごの中へ入れておいた。
よるになるとほたるがびかびか光り出す。ほんとうにほたるは面白い。
(評) おもしろいみかたです。きもちがよくかけた。

・フタバ 大正

麦かり 尋常2 鈴木勇

私のうちではいそがしい麦かりに行きました。ゆうがたからはいものつ
るをうえるてつだいをしました。もうごはんのしたくができていました。
すぐ中にはいってごはんをたべました。
(評) よくおてつだいをしました。

・フタバ 大正

ヒカウキ 尋常2 藤平宏

ボクラガ学校ヘイッテイルト ヒカウキヤヒカウセンガ ゴウゴウトオ
トヲサセテ ソラヲトンデイマス ソレヲ見ルタビニオウキクナッ
タラノッテ見タイト思イマス
(評) ハヤクオオキクナッテオノリナサイ

半農半漁の性格か、あまり裕福でない子どもの姿がみられる。ただし、ヒ
カウキ（飛行機）やヒコウセンを実際にみて印象が強かったのであろう。

まとめ

大正期の子どもの遊び生活を論じてきたが、子ども自身による文集・日記
などに、子どもの自身の考えを示す遊び生活が存在した。また、子どもの（童
心）を示す内容が文集に示されていた。その他、双六、読み物などに子ども
をめぐる子どもなりの状況が推測される。

註

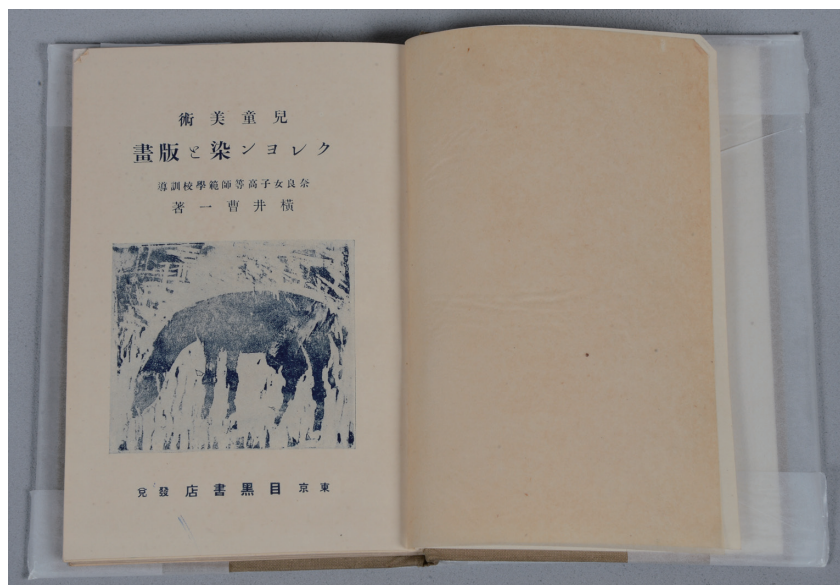
- 1) 明治百年の児童史 唐沢富太郎著 講談社
子どもの歴史 第一法規
- 2) 明治百年史 唐沢富太郎著 講談社
例えば、八大教育主張、芦田恵之助による作文教育の随意選題の考え、山本鼎の自由画運動（児童による自然・直接的な表現）、その他、童謡を扱った詩人の続出であった。八大教育主張とは、小原国芳の全人教育論、及川平治の動的教育論、稲毛詛風の創造教育論、千葉命吉の一切衝動満足論、手塚岸衛の自由教育論、樋口長一の自学教育論、片山伸の文芸教育論、及川平治の動的教育論である。
- 3) <http://gogen-allguide.com/ku/crayon.html> 2014/10/24
http://cc.musabi.ac.jp/zoukei_file/03/sobyzo/sozai_suisai.html
2014/10/24
- 4) 絵すごろく 山本正勝著（株）芸艸堂 2004 年 1 月
- 5) 東京玩具人形問屋協同組合七十年史
- 6) 明治百年の歴史 唐沢富太郎著 講談社
「日本人の近代意識形成過程における伝統的契機と西欧的契機」 特定研究「日本の近代化」研究報 NO.2 1968 年 3 月 東京教育大学



(1) ① 鉛筆画と水彩画 サイシキシカタ エンピツ画など



(1) ① 鉛筆画と水彩画 サイシキシカタ エンビツ画など



1. (1) ② クレヨン染と版画 大正 14 年





1. (2) 少女學校家庭雙六



1. (2) 世界軍人飛行雙六



1. (2) 小学生徒双六



1. (2) 双六幼女力ガミ



1. (2) 幼女双六音楽会



1. (2) 幼女年中双六



1. (3) 玩具の選び方と与え方 大正 15 年



4. ①世界少年 ②幼年の友 ③日本少年 など



2. (2) 暑中休暇誌



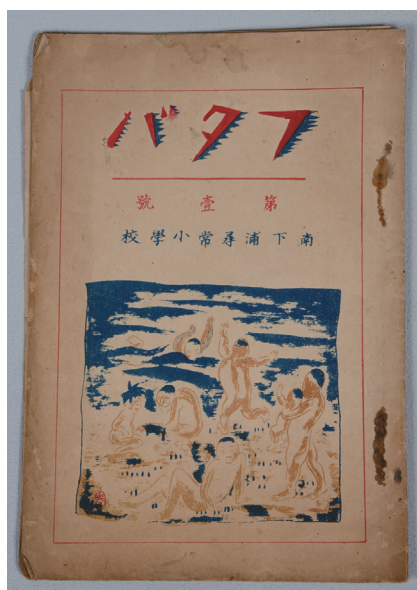
3. (1) 最近児童文学 大正 12 年



3. (3) 尋常小學校夏季學習帖



3. (4) 文林 南下浦尋常高等小学校 大正期



3. (5) フタバ 大正